切ニ指示ス。

民人各自ヲシテ業務ヲシテ遂ケコト得ル可キナリ。

韓延セシコトアラン、此旨議ス、故ニ出示曉諭シテ普ク知悉セシム。勿論

只默ル民間未タ遺憾ノ消息ニ通セス。妄リニ謠言ヲ捏造シテ煽動ヲ

ラシテ其緒ニ安ンセシメ、以テ謠言ニ關ハシコトヲ期ス可シ。

ク本職ニ信據シテ可ナリ。本職モ亦賴セニ勵精事ニ當リ、韓民

護ヲ保護シ、其福利ヲ增進セシメンコトヲ期スルニアルノミ。韓國臣民ハ宜シク

間民ヲ安堵セシメ、統監閣下ノ命ニ依リテ、專ラ韓國人民ノ身命財

産ヲ保護ス。乃チ知ル可シ、本職ノ此地ニ來ルハ、大韓國皇帝陛下ノ

下ニ於テ諮議シ、即時本職ヲ派シテ發後ノ情形ヲ觀察シ、民人ノ疾苦ヲ

ニ於テ大韓國皇帝陛下宿直實行ノ件ヲ伊藤統監閣下ニ請フ。統監閣

[illegible]今ヤ和局ニ成リ、兵馬悉ク撤退シ、寰宇昇平ヲ樂ム。是

第二章　間島協約交渉經過

帝國政府ハ明治三十八年十二月二十二日調印ノ日清條約竝附屬協約ニ依リ滿洲ニ於ケル日清兩國關係事項ノ大体ヲ規整シ得タルカ尚同條約ニ基キ細目ニ亘リテ決定ヲ要スヘキ所アルノミナラス同條約以外ニ於テモ亦戰役ノ結果トシテ存在セル事態ノ整理ヲ要スル案件多アリ是等案件ハ帝國政府ニ於テ鋭意解決ヲ圖リタル爲漸次妥結ヲ告クルニ至リタルモノアリト雖尚兩國政府ノ合意ヲ見ル能ハサルモノ尠カラス加フルニ其後新ニ間島問題、法庫門、新民屯間鐵道問題京奉鐵道ヲ奉天城根ニ延長スルノ件等發生シタル爲交渉更ニ一層ノ複雜ヲ來シ明治四十一年ノ秋季ニ及ンテハ滿洲ニ關シ解決ヲ要スル難問多數ニ上リ其ノ妥結ノ甚タ容易ナラサルト同時ニ永ク此ノ狀態

REEL No. 調-0014
0407
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ヲ繼續スルハ兩國ノ親交ノ爲頗ル憂慮スヘキモノアルニ至レリ

明治四十一年九月帝國政府ハ廟議ヲ以テ對外政策ノ大綱ヲ定メ淸國ニ對スル帝國政府ノ政策モ之ニ因リテ確定スルニ至リタルヲ以テ滿洲ニ關スル懸案中ノ緊要ナルモノヲ擧ケテ解決センコトヲ欲シ間島問題、法庫門、新民屯間鐵道問題、大石橋支線問題、撫順及煙臺炭坑問題、南滿及安奉鐵道沿線鑛山問題及京奉鐵道延長問題ノ六案件ヲ一括シテ淸國政府ト交渉ヲ開始スルコトニ決シタリ

右ニ就キ間島問題ハ前章所述ノ如ク明治三十九年以來帝國政府ト淸國政府トノ間ニ其ノ所屬問題ニ付累次應酬ヲ重ネ來レル所ナルカ同問題ニ關スル韓國方主張ノ根據薄弱ニシテ康熙定界以來淸韓交渉ノ歷史ト淸國カ韓國ニ先シテ行政ヲ該地方ニ施シタルノ事實ニ徵シ豆

REEL No. 調-0014
0408
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

[illegible]

滿江カ兩國ノ國境ヲ成スモノタルハ疑ヲ容ルルノ餘地無ク唯當時尙決定ヲ見ルニ至ラサルハ單ニ豆滿江源流ノ二派卽チ紅土、石乙兩水ノ何レカ同江上流地方ノ境界ヲ成スヤノ一點ニ止マルモノナル處他方同問題ニ對スル清國ノ態度極メテ強硬ニシテ同國地方官憲ハ終始間島地方ニ於ケル清國領土權ヲ主張シテ怠ル所無ク間島ニ於ケル日、清兩國官憲間ノ軋轢亦漸次甚シキヲ加ヘ各種ノ案件續出底止スル所無ク永ク此狀態ヲ其儘ニ放置シ置クトキハ遂ニ國交ニ影響ヲ及ホシ大局ニ累ヲ貽スノ虞アルヲ慮リ清國トノ交情ヲ敦ウシ併セテ滿洲ニ於ケル我經營ヲ進捗セシムル爲ニハ可成速ニ同問題ヲ解決スルヲ必要ナリト認メ明治四十一年九月帝國政府ハ間島問題ニ付テハ

(一)豆滿江カ清韓兩國ノ境界タルコトヲ確認シ同江上流地方ノ境界ニ

付テハ日清兩國ノ共同調査委員ヲシテ之ヲ調査決定セシムルコト

(二)清國ヲシテ間島ニ於ケル日韓人ノ雜居ヲ公認セシムルコト

(三)局子街其他樞要ノ地ニ帝國領事館又ハ分館ヲ設置シ條約ニ依ル領事官ノ權利ヲ行ハシムルコト

(四)日韓人ノ既ニ該地方ニ於テ獲得セル財産及着手セル事業ハ清國ヲシテ之ヲ承認セシムルコト

(五)吉長鐵道ヲ會寧ニ延長セシムルノ件ハ間島問題ニ關聯シテ要求スルモ到底其目的ヲ達シ得サルヘシト認ムルニ付追テ適當ノ機會ニ交渉ヲ開クコトトシ今回ノ交渉ニハ提議セサルコト（其後十二月二十七日ニ至リ本件ヲ間島問題ニ關聯シテ提議スルコトカ直チニ目的ヲ達シ得サル迄モ他日ノ解決ノ素地ヲ作ル上ニ適當ナリト認

[illegible]

REEL No. 調-0014
0410
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ムルニ於テハ裁量ニ依リ交渉シ差支無キ旨改メテ訓令セリ）ヲ條件トシテ談判ヲ開始スルニ決定シ（別紙第一號）十二月二日右ノ趣旨ヲ體シテ清國ト交渉ヲ開始スヘキ旨新任伊集院在清公使ニ訓示シ速ニ赴任セシメタリ

伊集院公使ハ十二月廿八日清國委員トノ間ニ第一回ノ會見ヲ遂ケ翌四十二年二月三日ニ至ル迄四回ノ會商ヲ重ネタルカ清國委員ハ境界問題ニ關スル新證據トシテ韓國ノ官版ナリト稱スル大唐輿地圖以下二三ノ地圖ヲ提出シテ豆滿江境界說ヲ主張シ我方亦之ヲ反駁シ結局彼我双方互ニ從來ノ主張ヲ反覆シテ論議ヲ闘ハシタルニ過キス

依テ同公使ハ交渉促進ノ爲我方要求各項ヲ具體的ニ明示シ置クノ必要ヲ認メ他ノ五案件ト共ニ間島問題ニ關スル我方ノ五條件ヲ覺書ニ

REEL No. 調-0014
0411
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

[illegible]

認メ二月六日之ヲ清國政府ニ提出シ同十日第五回ノ會見ニ於テ之ニ基キ商議セリ右覺書ノ各項及之ニ對スル清國側應酬要領次ノ如シ

(一)「豆滿江北一帶ノ地若シ韓國ノ所屬ニ決シタル場合日本國政府ハ該地方ニ於ケル清國人ノ雜居及營業ヲ公認スヘキト均シク若シ該地方カ清國ノ所屬ニ決シタル場合ニモ清國政府ハ該地方ニ於ケル日韓兩國人ノ雜居及營業ヲ公認シ互ニ改風易俗ヲ强制セサルヘシ」トノ我提議ニ關シ清國委員ハ韓人ノ雜居ハ兎モ角日本人ノ雜居ハ全ク理由ナシト答ヘ

(二)「該地方カ韓國ノ所屬ニ決シタル場合ニモ日本國政府ハ清國領事館ノ設置ヲ認ムヘシト均シク該地方カ清國ノ所屬ニ決シタル場合ニモ清國政府ハ日本國政府カ局子街其他該地方樞要ノ地ニ日本國領事館又ハ分館ヲ設置シ日本國官吏ヲシテ日韓民ノ保護管轄ヲ行

REEL No. 調-0014
0412
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ハシムルニ異議無カルヘシ」トノ我提議ニ對シテハ清國委員ハ之ヲ以テ該地方ヲ擧ケテ通商開放地ト爲サムトスルモノト爲シ諸外國トノ關係ヲ生シ甚タ好マシカラサルコトヲ述ヘ又保護管轄ノ問題ニ關シテハ韓人ヲ單純ナル遊歷來往者ト土地家屋ヲ有スル住民トノ二種ニ區別シ前者ニ付テハ犯罪ノ場合ニ之ヲ韓國ニ引渡スヘク後者ニ付テハ全然之ヲ清國法權ノ下ニ置カサル可ラスト主張シ

(三)「該地方ニ於テ清國人ノ既ニ獲得セル財產及著手セル事業ハ日本政府之ヲ承認スルト均シク日韓人ノ既ニ獲得セル財產及著手セル事業モ亦清國政府之ヲ承認スヘシ」トノ我提議ニ付テハ我方ヨリ中野次郎ノ經營ニ係ル天寶山鑛山ノ如キハ著手事業中最モ顯著ナルモノナルカ故ニ特ニ之ニ關スル考慮ヲ求ムル旨ヲ述ヘタルニ清

0413
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

[illegible]

國委員ハ中野ト清國人トノ合同ハ清國官憲ノ許可シタルモノニ非サルヲ指摘シ且該礦山ト米國人トノ關係ニ付會テ米國側ヨリ申出タル次第アル旨ヲ述ヘ結局本件ノ如キハ間島問題ト分離シテ議スヘキモノナルコトヲ主張シ

(四)「該地方ト他ノ清韓地方トノ交通及貿易ニ對シ互ニ障碍ヲ設ケサルヘシ」トノ我提議ニ對シテハ清國委員ハ斯クノ如キ抽象的規定ハ將來誤解ヲ生スルノ虞アルカ故ニ該條項ノ目的トスル事項ヲ明示セムコトヲ請求シ

(五)吉長鐵道ヲ會寧ニ延長ニ關スル件ニ關スル我提議ニ付テハ清國委員ハ右ハ間島問題ト無關係ナルノミナラス吉長線ナホ未成ノ今日之ヲ議スルハ見合ハセ度シト述ヘタリ

REEL No. 調-0014

0414

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

[illegible]

要スルニ當日ノ會見ニ於テハ清國側ニ於テ飽ク迄間島問題ニ重キヲ置キ之ニ付テ我ヨリ讓歩ヲ得ルニ於テハ他ノ問題ニ付テハ彼ニ於テ讓歩ヲ爲スヘキコトヲ言明シタル外何等ノ要領ヲ得サリキ

二月十七日第六回會議ニ於テ伊集院公使ハ清國カ間島問題ニ關スル我方五箇ノ條件ニ同意シ其他ノ懸案ニ關スル我提議ヲ承認スルニ於テハ間島ノ所屬論ニ付テハ我ヨリ讓歩スルモ可ナリトノ訓令ニ接シタルヲ述ヘ帝國政府ニ於テ既ニ斯クノ如ク多大ノ讓歩ヲ辭セサル上ハ清國ニ於テモ亦同一ノ態度ニ出テ速ニ懸案全部ノ妥協ヲ遂ケムコトヲ求メタルニ清國委員ハ日本ニ於テ單ニ清國ノ領土權ヲ承認シ雜居韓人ニ對スル清國ノ法權ヲ認メサルトキハ領土權ノ承認ハ有名無實トナルノ虞アリ故ニ清國トシテハ間島ニ於テ二三ノ場所ヲ開キテ

通商地ト爲シ之ニ居住スル韓國人及右以外ノ地ニ遊歴來往スル韓國人ハ韓國ノ法權ニ服セシムルコトヲ承諾スヘキ旨ヲ述ヘ天寶山礦山ノ件ニ付テハ之ヲ清國ノ章程ニ從ヒ日清合辦ト爲スハ主義ニ於テ異議無シト雖尚東三省總督ニ問合ノ上確答スヘシト爲シ又吉長鐵道延長ノ件ニ至リテハ之ヲ合辦ト爲スコト東三省總督ニ於テ反對アルヲ以テ同意スルコト困難ナリト述ヘ交渉上著シキ進捗ヲ見ス

巻一 五三頁

依テ帝國政府ハ更ニ考量ノ上間島ニ於ケル韓人雜居ノ區域ヲ現ニ韓人ノ密集セル地域ニ限リ且東ハ嘎呀河、北ハ老爺嶺ヲ界トシ西ハ老嶺ニ沿ヒテ定界碑ニ至ル間ノ地域ニ限定シ又本邦人ノ居住ハ一定ノ通商地ニ限リ而シテ龍井村、局子街、頭道溝、百草溝、下泉坪及銅佛寺六箇所ヲ以テ通

REEL No. 調-0014
0416
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

商地ト爲シ是等ノ地ニ我領事館及分館ヲ設置スルコトヲ承認セシムルコトトシ其趣ヲ伊集院公使ニ電報シタリ

依テ同公使ハ三月一日第七回會議ニ於テ右ノ次第ヲ清國委員ニ通シタル處清國委員ハ尚之ニ滿足セス飽ク迄裁判管轄ニ關スル從來ノ主張ヲ貫徹セムトシ議容易ニ纒マラス清國委員ハ遂ニ裁判ノ經過ヲ軍機大臣ニ告ケ廟堂ノ議ヲ定ムヘシト述ヘ會議ヲ閉チタリ

爾來彼我正式ノ會見暫ラク中絶シタリシカ三月二十二日清國政府ヨリ其ノ主張ヲ再述シ我ニ於テ之ヲ容レスムハ各懸案ヲ海牙仲裁裁判ニ附議シ度キ旨ヲ提議シ來レリ之ニ對シテ帝國政府ハ清國政府カ我讓歩ヲ諒トセス誠意妥協ニ努ムルコト無クシテ遽ニ局外ノ干與ヲ招カムトスルハ獨リ兩國邦交ノ爲メニ不幸ナルノミナラス東亞大局ノ

REEL No. 調-0014
0417
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

爲メニ得策ニ非サルコトヲ切言シ在清公使ヲシテ清國側ノ愼重ナル再考ヲ促サシメタル結果清國政府モ遂ニ悟ル所アリテ仲裁附托說ヲ捨テ八月七日ニ至リ在清公使ニ覺書ヲ送致シ來レリ

右覺書ニ於テハ清國ハ間島問題以外ノ案件ニ關シ幾分ノ讓步ヲ爲シ得ルモ間島問題ニ關シテハ全然讓步ノ餘地無キコトヲ言明シ且他ノ案件ニ關スル讓步モ亦我ニ於テ間島問題ニ關スル清國ノ主張ヲ全部承諾スルコトヲ以テ條件ト爲ス旨ヲ述ヘタルモ商議ノ氣運著シク開展ヲ見ルニ至リタルヲ以テ帝國政府ハ清國反省ノ機ヲ逸セス懸案全部ノ解決ヲ圖ル爲我當初ヨリノ目的タル韓民保護ノ主義ヲ害セサル範圍內ニ於テ裁判權問題ニ付讓步ヲ爲スニ決シ八月十三日ヲ以テ在清公使ニ其旨電訓セリ（別紙第二號）

REEL No. 調-0014
0418
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

八月十六日商議再開ノ際清國委員ハ裁判管轄權問題ニ關シ立會裁判ニ近キ一案ヲ提出シ翌十七日外務部ヨリ其ノ案文ヲ在清公使ニ送付シ來レリ其要領左ノ如シ

間島ノ韓民ニシテ自己ノ希望ニ依リ清國ニ歸化セル者ヲ除キ將來商埠外ニ居住スル者ハ尚從來ノ例ヲ案照シテ清國ノ法權ニ服從シ清國地方官ノ管轄及裁判ニ歸スヘキモノトス清國官吏モ亦當ニ韓民ト清民ヲ一律ニ待遇シ諸種ノ税金ハ清民ト同一タルヘシ而シテ韓民ニ對スル行政上ノ處分及違警罪處分並尋常ノ案件ハ總テ清國官吏ニ於テ之ヲ處分シ命盜ノ大案ニシテ韓民ト韓民間ノ場合又ハ被告カ韓民タル場合ニシテ監禁十年以上ノ處刑並民事訴訟事件ニシテ財產十萬元以上ノ案件ニ對シテハ清國官吏判定ノ後日本領事

REEL No. 調-0014
0413
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニ知照シ領事ニ於テ若シ該裁判カ法律ヲ案セスシテ判決セルモノナルコトヲ發見シタル場合ニハ領事ヨリ該省ノ交渉使ニ照會シ提法使ヨリ委員ヲ派シテ覆審ヲ行ヒ領事ハ法廷ニ赴キテ觀審スルコトヲ得ルモノトス

將來ノ商埠ハ清國自ラ先ツ二三箇所ヲ開キ埠界ヲ劃定スヘシ埠內ニ於テハ各國ヨリ領事館ヲ設立シ約ニ照シテ通商スルコトヲ承諾スヘシ埠內ノ行政警察及各種ノ工程ハ凡テ清國自ラ之ヲ辨理シ領事館ニハ司法警察ヲ附設シ專ラ當該國居留民ノ召喚訊問ノミヲ掌リ商埠外ニ及ホスコトヲ得サルモノトス

尋テ十八日ノ會議ニ於テ清國委員ハ其ノ私案トシテ「清國政府ハ協約調印後一年又ハ二年ノ期間ヲ限リ間島ニ於ケル裁判事務ノ顧問ト

REEL No. 調-0014
0420
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

シテ若干ノ日本人ヲ聘傭スルコトトシ其ノ條件ノ下ニ清國ニ於テ雜居韓人ニ對スル裁判權ヲ行使スルコト」ト爲サムトノ案ヲ提出シタルモ何レモ纒マルニ至ラス

吉長鐵道延長ノ件ニ關シテハ八月十八日ノ會議ニ於テ清國委員ヨリ尙從前ノ主張ヲ繰返ヘシタルヲ以テ在清公使モ亦從前ノ主張ヲ反覆シ且本件ヲ協約ニ掲クルコト不便ナルニ於テハ秘密ノ取極又ハ別約ト爲スモ可ナルコトヲ述ヘタルモ我方希望ヲ貫徹スルノ極メテ困難ナルコト愈々明白ナルニ至リタルヲ以テ在清公使ハ翌十九日高尾通譯官ヲ軍機大臣那桐ノ邸ニ遣ハシ吉長鐵道ノ延長ノ件ハ我方ニ於テ極メテ重大視スル事項ナルコト及右ニ關スル一點ニテ或ハ懸案妥結ノ不成功ニ終ハルヤモ圖ラレサルコトヲ告ケテ其ノ盡力ヲ促サシメ

REEL No. 調-0014
0421
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

タルカ二十一日ニ至リ清國委員ヨリ協約以外ノ取極トシテ「清國ニ於テ若シ吉長鐵道ヲ會寧ニ延長スルコトアラハ吉長鐵道ノ例ニ倣ヒ不足ノ資本ハ日本ヨリ借入ルヘク右ハ清國ノ自辦鐵道トシテ實行ノ時期ハ清國自ラ之ヲ定ムヘシ」トノ趣旨ヲ取極ムヘキ旨ヲ提議シ且之カ代償トシテ韓人裁判權ハ清國民同樣絕對無限ニ清國ニ於テ之ヲ行使セムコトヲ求メタリ。

茲ニ於テ在淸公使ハ清國ニシテ吉長鐵道延長問題其他撫順炭坑以下ノ各問題ニ付我ニ滿足ヲ與フルニ於テハ裁判權問題ニ關シテハ難ヲ忍ンテ讓步ヲ爲スヘキ旨訓令ニ接シタリト前提シ立會裁判ヲ基礎トスル案ヲ提出シタルニ清國側ハ頻リニ立會裁判制ヲ拒ミ在淸公使ニ於テ立會裁判ハ淸韓通商條約（光武三年、明治三十二年）第五條ニ

REEL No. 調-0014
0422
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

據ル韓人ノ既得權ニシテ到底拋棄シ難キヲ說明スルヤ清國側ハ更ニ立會事件ノ種類ヲ一定セムコトヲ求メ結局我提案ニ若干ノ修正ヲ加ヘ政府ノ承認ヲ條件トシテ左ノ通協議纒マリタリ

豆滿江北地方通商地外雜居地域內ニ居住スル韓民ハ清國ノ法權ニ服從シ清國地方官ノ管轄裁判ニ歸ス清國官吏ハ當ニ該韓民ヲ清國民ト一律ニ待遇スヘク納稅其他一切行政上ノ處分ニ關シテモ亦清國民ト同樣タルヘシ該韓民ニ關係スル民事刑事等一切ノ訴訟事件ハ當ニ清國官吏ニ於テ清國ノ法律ヲ按照シ公平ニ審判スヘク日本國領事官又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ自由ニ法廷ニ立會フコトヲ得但シ人命ニ關スル重案ハ須ラク先ツ日本國領事ニ知照シ領事ハ法廷ニ立會フコトヲ得若シ日本領事ニ於テ該裁判カ法律ヲ按セ

REEL No. 調-0014
0423
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

スシテ判斷セルモノナルコトヲ發見セル場合ニハ領事ハ別ニ委員ヲ派遣シ覆審スヘキコトヲ求ムルコトヲ得（協約第四條）

吉長鐵道延長ノ件ニ關シテハ在清公使ハ既ニ裁判權問題ニ付大ナル讓歩ヲ爲シタル以上本問題ニ關シ全然我提案ノ主意以下ニ讓歩スル能ハサルコトヲ主張シタル結果遂ニ清國側ヨリ左ノ修正案ヲ提出スルニ至レリ

清國政府ハ將來吉長鐵道ヲ延吉南邊ノ境ニ延長シ韓國會寧地方ニ於テ韓國鐵道ト聯絡スヘク一切ノ辦法ハ吉長鐵道ト一律ニ辦理スヘシ開辦ノ時期ハ清國ニ於テ情形ヲ酌量シタル上再ヒ日本ト商議シテ定ムヘシ（協約第六條）

茂山以奥豆滿江々源地方ノ境界線ニ付テハ清國委員ハ長白山ハ清國

REEL No. 調-0014
0424
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

發祥ノ地ニシテ朝廷ニ於テ特ニ重キヲ置ク所ナルヲ説キテ切ニ石乙水説ニ同意セムコトヲ求メ又天寳山問題ニ關シテハ清國委員ハ八月十日米國代理公使カ外務部ニ來リ米人側ノ權利承認ヲ迫リタルヲ以テ米國側ヨリ故障アリタル上ハ既ニ主義上承認シタル日清合辦モ之ヲ行フニ由無シト述ヘタルヲ以テ在清公使ハ其ノ前回ノ協議ニ反スルヲ詰リ米國側ノ關係ハ夙ニ絶エタル筈ナル旨ヲ以テ書類ニ就キ精細ニ取調方ヲ要求セリ

以上ノ如ク間島問題モ漸ク妥結ニ近ツキ他ノ五箇ノ懸案全部モ解決ノ見込略立チタルヲ以テ帝國政府ハ可成速カニ妥協ヲ遂ケ一括解決ヲ了スルヲ得策ト認メ若シ清國政府ニシテ他ノ未決事項ニ關シ我ニ十分ノ滿足ヲ與フルニ於テハ間島問題ニ於ケル茂山以奥ノ境界問題

ハ特ニ清國ニ對シ讓歩ヲ爲スヲ辭セサルコトニ決シ二十五日ヲ以テ其旨在清公使ニ電訓セリ

八月二十六日ノ會議ニ於テ清國委員ハ茂山以奥ノ境界ニ付石乙水説ヲ主張シタルモ在清公使ハ尚之ニ同意セス單ニ清國希望ノ次第ハ帝國政府ニ取次クヘキ旨ヲ答フルニ止メ開放地ニ關スル問題ニ進ミ

清國政府ハ本協約調印後可成速ニ左記ノ市邑ヲ外國人ノ居住及貿易ノ爲開放スヘク日本國政府ハ此等ノ地ニ領事館若クハ領事館分館ヲ酌設スヘシ開放ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム

龍井村、局子街、頭道溝、百草溝、下泉坪、銅佛寺

上記通商地ニ關スル一切ノ章程ハ日清兩國官憲ノ間ニ別ニ商定スヘシ

REEL No. 調-0014
0426
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

トノ案ヲ提出シタルニ清國委員ハ商埠規則ヲ兩國ノ協議ニ付スルコトニ對シ強硬ニ反對シタルヲ以テ結局妥協案トシテ右ハ條約以外ニ公文ヲ以テ之ヲ取極ムルコトト爲シ該公文案トシテ

　商埠地域及地域内ノ工程、巡警、衛生等ノコトハ清國政府自ラ辨理ヲ行フ其ノ章程モ亦清國自ラ之ヲ定ムヘク擬定ノ後ハ當該駐在領事ト協商シ以テ接洽ヲ期ス

ト云フニ協定ヲ了セリ然レトモ開放地ノ數ニ付テハ双方前説ヲ繰返ヘシ尚協定ヲ見ルニ至ラス

右ノ外韓人ノ既得權ヲ承認シ且通商貿易ヲ阻害スヘキ施設ヲ爲ササルヘキコトニ付テハ清國委員ヨリ具体的ニ事項ヲ列擧セムコトヲ求メ在清公使ハ所謂既得權トハ主トシテ土地家屋等ノ財産權ニ關スル

REEL No. 調-0014
0427
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ハ勿論ニテ又通商貿易ヲ阻害スヘキ施設ヲ爲サヽルヘキコトトハ善後章程（第一章別紙第一號）ニ依ル渡船ノ自由並穀物秣柴等ノ輸出入許可ヲ指示スルモノニシテ要スルニ韓人從來ノ既得ノ利益ヲ確保スルノ趣旨ニ過キサルコトヲ說明シ吉長鐵道延長ノ件ニ關シテハ在清公使ヨリ帝國政府ハ清國政府ニ於テ强テ異論無キ限リ本件ヲ協約ノ條文中ニ入ルルノ希望ヲ有スルコトヲ述ヘ本件ニ關スル帝國政府ノ希望ニシテ清國ノ容ルル所トナル場合ニハ我方ニ於テモ石乙水說ニ關スル清國側ノ希望ニ對シ好意ヲ以テ考量スルコトトナルヘキ旨ヲ說示シタリ

八月三十一日ノ會見ニ於テ清國委員ハ吉長鐵道延長ノ件ヲ協約中ニ載入スルコトニ同意シタルヲ以テ在清公使モ亦茂山以奥ノ境界線ニ

REEL No. 調-0014
0428
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

付帝國政府ニ於テ清國委員ノ立場並清國朝廷ノ感情ヲ尊重シ強テ石乙水説ニ同意スヘキ旨訓令アリタルコトヲ告ケ左ノ案文ヲ決定セリ

日清兩國政府ハ豆滿江ヲ以テ清韓兩國國境トシ江源地方ニ於テハ定界碑ヲ起點トシ石乙水ヲ以テ境界ト爲スコトヲ聲明ス（協約第一條）

天寶山合辨問題ニ付テハ清國委員ヨリ米國側ハ既ニ將軍ノ批准ヲ經タルモノナルニ依リ一概ニ之ヲ排斥シ難キ旨ヲ述ヘ米國代理公使モ亦二十七日在清公使ヲ訪ヒテ米國人ノ有スル權利ニ付考量ヲ加ヘムコトヲ請求セル次第モアリタルヲ以テ双方協議ノ上左ノ案ヲ決定セリ

天寶山銀鑛ハ若シ障碍無キ限リ日清合辨トナスコトニ異議無シ但

REEL No. 調-0014

0429

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

シ萬一實行シ難キ事情アル場合ニハ別ニ兩國ノ間ニ妥商スヘシ（ヘ公文）

次テ清國委員ヨリ廿一日ノ會議ニテ協議成立シタル雜居區域内韓民管轄權ノ箇條ノ冒頭「圖們江北地方」ノ下「通商々埠外」ノ一句ヲ削除セムコトヲ請求シ同時ニ書面ヲ以テ商埠内居住者ト雖商埠外ニ土地ヲ有シ農業ヲ營ム者ヲ越墾ノ民トシテ清國ノ法權ニ服從セシムヘキモノナリトノ聲明ヲ爲サムコトヲ提議セルモ在清公使ハ前者ニ付テハ同意セルモ後者ハ之ヲ撤回セシメタリ而シテ開放地ニ付テハ清國當該地方督撫ノ反對アリトテ清國委員ニ於テ切ニ其ノ數ヲ減セムコトヲ求メタルヲ以テ在清公使ハ政府ノ承認ヲ條件トシテ下泉坪及銅佛寺ノ二箇所ヲ削除スヘキコトヲ言明シ清國委員ハ他ノ四箇所

[illegible]

REEL No. 調-0014
0430
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニ關シ確定的同意ヲ與ヘ左ノ案文ヲ協定セリ

清國政府ハ本協約調印後成ルヘク速カニ左記ノ各地ヲ外國人ノ居住及貿易ノ爲開放スヘク日本國政府ハ此等ノ地ニ領事館若クハ領事館分館ヲ酌設スヘシ開放ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム

龍井村、局子街、頭道溝、百草溝　（協約第二條）

統監府派出所撤退及領事館設立ノ期日ニ關シテハ清國委員ハ協約調印ノ上ハ直チニ派出所ノ撤退アルモノト期待シタルモノノ如クナリシモ協議ノ末左ノ通案文ヲ決定セリ

本協約ハ調印後直チニ效力ヲ生スヘク統監府派出所並文武ノ各員ハ成ルヘク速カニ撤退ヲ行ヒ二箇月ヲ限リテ全部結了スヘシ日本國政府ハ第　條ニ規定セル通商地ニ二箇月以内ニ領事館ヲ設立ス

REEL No. 調-0014
0431
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

[illegible]
ハ成ルヘク速カニ撤退ヲ行ヒ二箇月ヲ限リ全部撤了スヘシ日本
本協約ハ調印後直チニ效力ヲ生スヘク [illegible]
[illegible]

龍井村、局子街、頭道溝、百草溝（協約第六條）

清國政府ハ本協約調印後成ルヘク速ニ左記ノ各地ヲ外國人ノ居住及貿易ノ爲開放スヘク日本國政府ハ此等ノ地ニ領事館若ハ領事館分館ヲ設置スヘシ開放ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム

ニ關シ確定的同意ヲ與ヘ左ノ案文ヲ提出セリ

ヘシ（協約第七條）

雜居區域ニ關シテハ在清公使ヨリ我方案文ヲ提出シタルニ清國委員ハ地名等清國固有ノ名稱ト異ル所アルヲ述ヘ結局一應對照ノ上ニテ決定スルコトトナリ又普後章程ニ依ル既得權ノ維持ニ關シテハ清國委員ハ章程其物ノ效力ヲ疑ヒ之ヲ協約ノ明文ニ載スルトキハ無制限ニ國境貿易ヲ許與スルト同一ノ效果ヲ生スヘキヲ恐レタルヲ以テ在清公使ハ章程ノ規定カ舊來ノ事態ヲ確認シタルニ止マリ該章程ニ依リテ初メテ利益ヲ發生シタルニ非ス加フルニ穀物柴草等ノ運搬ノ如キハ敢テ之ヲ國境貿易ト稱スルカ如キモノニ非ス之カ規定ハ畢竟韓國人民ヲシテ間島管轄權讓歩ノ爲無用ノ危懼ヲ懷カシメサル爲必要ナルニ過キサル旨ヲ述ヘ結局雜居區域ノ件ト共ニ更ニ協議スルコト

トナレリ
翌九月一日在清公使ハ那桐ト會見シ雜居區域ニ關スル條文ハ彼我地名ヲ異ニスル爲地圖ヲ附スルコトトナシ又韓民既得ノ利益ニ關スル箇條モ善後章程ノ三箇條ヲ完全ニ網羅セシムルコトトナリタルカ其案文次ノ如シ

清國政府ハ從來ノ通圖們江北ノ墾地ニ於テ韓民ノ居住ヲ承認ス其ノ地域ノ境界ハ別圖ヲ以テ之ヲ示ス　（協約第三條）

圖們江北雜居區域內ニ於ケル韓民所有ノ土地家屋ハ清國政府ヨリ清國人民ト一律ニ完全ニ保護スヘシ該江沿岸ニハ場所ヲ選ミ渡船ヲ設ケ双方人民ノ往來ハ自由タルヘシ但兵器ヲ携帶スルモノハ公文又ハ護照無クシテ境ヲ越ユルヲ得ス雜居區域內產出ノ米穀ニ對

REEL No. 調-0014
0433
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

[illegible]ヲ設ケ雙方人民ノ往來ハ自由タルヘシ但兵器ヲ携帶スル者ハ公
文又ハ護照無クシテ越境スルヲ得ス雜居區域内産出ノ米穀ニ對

シ韓民ノ搬運ヲ許ス尤モ凶年ニ際シテハ尚禁止スルコトヲ得ヘク
柴草ハ舊ニ依リ照辨スヘシ（協約第五條）
以上ヲ以テ間島問題全部ノ商議結了ヲ告ケタルヲ以テ九月四日兩國
委員之ニ調印ヲ了セリ（別紙第三號）

59

別紙第一號

明治四十一年九月廿五日閣議決定

今回帝國ノ對淸政策確定セルニ付テハ先ツ滿洲ニ關スル對淸諸問題ノ解決ヲ計ルヲ期シ此際其中ノ最モ重要ナルモノ卽チ間島問題、法庫門鐵道、大石橋營口鐵道ノ撤去、新奉鐵道ノ延長、撫順及煙台炭坑及安奉線其他ノ鐵道沿線鑛山ノ六案件ヲ一括シテ淸國政府ト協商ヲ遂ケ讓ルヘキモノハ之ヲ讓リ我主張ヲ貫徹スヘキモノハ飽ク迄之ヲ貫徹シ大体左ノ方針ニ依リ成ルヘク一併ニ是等諸問題ノ解決ヲ計ラムトス

間島問題

間島問題ハ淸韓兩國多年ノ懸案ナル處本件ニ關スル韓國ノ主張ハ其

REEL No. 調-0014
0435
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

根據甚タ薄弱ニシテ康熙定界以來清韓交渉ノ歴史ト清國カ韓國ニ先ンシテ行政ヲ該地方ニ施シタル事實ニ徵スルニ豆滿江カ兩國ノ國境ヲ成スモノタルハ疑ヲ容ルルノ餘地無ク今日ニ於テ尙問題トナルヘキハ單ニ豆滿江原流（紅土水石乙水）ノ何レカ同江上流地方ノ境界ヲ成スヤノ一點ニ止マルモノト認メラル然ルニ本問題ニ對スル清國ノ態度ハ極メテ强ク其ノ地方官憲ハ終始間島ニ於ケル清國領土權ヲ主張シテ怠ルナク昨年來日清兩國地方官憲間ノ軋轢漸次甚シキヲ加ヘ最近ニ至リテハ渡船、防穀、國旗、巡査毆打、分遣所侵入等ノ案件續出シテ止マル所ヲ知ラス永ク此狀態ヲ今日ノ儘ニ放置シ置クトキハ遂ニ兩國ノ國交ニ其影響ヲ及ホスノ虞アルニ至レリ由來清國人ハ其行動往々常軌ヲ以テ律ス可ラサルモノアルヲ以テ地

REEL No. 調-0014
0436
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

方官憲衝突ノ結果如何ナル奇變ヲ生シ累ヲ大局ニ及ホスコトアルヤモ亦之ヲ保ス可ラス帝國ニシテ清國トノ交情ヲ敦フシ併セテ滿洲ニ於ケル我經營ヲ進捗セムト欲セハ斯クノ如ク主張ノ根據薄弱ニシテ而モ兩國間ノ交情ニ危險ヲ及ホスカ如キ問題ハ成ルヘク速カニ之ヲ解決シテ萬一ノ誤解ヲ豫防スルニ務ムルヲ必要トス依テ此際清國政府ト交渉ヲ開キ左ノ條件ニ依リ兩國ノ境界ヲ確定シ併セテ我當初ノ目的タル韓民保護ノ途ヲ確實ナラシメ以テ本件ヲ妥結スルヲ適當トス

一、我ニ於テ豆滿江カ清韓兩國ノ國境タルコトヲ確認シ同江上流地方ノ境界ニ付テハ日清兩國ノ共同調査委員ヲシテ之ヲ調査決定セシムルコト

REEL No. 調-0014
0437
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

二、清國ヲシテ間島ニ於ケル日韓人ノ雜居ヲ公認セシムルコト
三、局子街其他樞要ノ地ニ帝國領事館又ハ分館ヲ設置シ條約ニ依ル領事官ノ權利ヲ行ハシムルコト
四、該地方ニ於テ日韓人ノ既ニ獲得セル財産及着手セル事業ハ清國ヲシテ之ヲ承認セシムルコト

吉長鐵道ヲ會寧ニ延長スルノ件ハ本件ニ關聯シテ之ヲ清國ニ要求スルモ到底其目的ヲ達スルノ見込無シト認ムルヲ以テ該件ニ付テハ追テ適當ノ時機ニ於テ交渉ヲ開クコトトシ本件ニ關シテハ右ノ條件ヲ提出セサルヲ得策トス（以下略）

REEL No. 調-0014

0438

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

別紙第二號

明治四十二年八月十三日閣議決定

帝國政府カ日清兩國間ニ存在スル政治上並經濟上ノ密接ナル關係ニ鑑ミ將來如何ナル場合ニ於テモ常ニ清國ニ於テ優勢ナル地位ヲ占有スルニ努メ之ト同時ニ今後益々滿洲ニ於ケル我特殊ノ地位ヲ確保シ且漸次列國ヲシテ之ヲ承認セシムルノ手段ヲ執ルヘキコトハ帝國對清政策ノ根本主義トシテ曩ニ廟議ノ決定セル所ナリ然ルニ其後清國ハ滿洲ニ關スル彼我交渉ノ案件ヲ仲裁裁判ニ附セムコトヲ提議シタルノミナラス其ノ之ヲ撤回スルニ至リタル後ニ於テモ尚妥協ノ誠意ヲ表セサリシヲ以テ帝國政府ハ安奉線改築ノ如ク我ニ明白ナル條約上ノ權利アリテ而カモ滿韓經營ノ爲メ特ニ急施ヲ必要トスルモノヲ除キ其ノ他ノ滿洲ニ關スル懸案ニ付テハ暫ラク現狀ヲ維持スヘキコ

REEL No. 調-0014

0439

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

トニ決セラレタリ

然ルニ安奉線改築ノ斷行ハ清國政府ヲ動カシ從テ政府部内ニ存在シタル日清關係改善論ニ刺激ヲ與ヘ同政府ヲシテ滿洲懸案ノ解決ヲ急ニスルノ必要ヲ認メシメ同政府ハ今回我カ嚢ニ提出セル解決案ニ對シ其對案ヲ送致シ且速ニ懸案ノ解決ヲナサムコトヲ我ニ提議スルニ至レリ

滿洲ニ關スル懸案ハ其性質何レモ現狀ヲ維持スル爲我ニ失フ所ナキモノニ屬スト雖現狀ノ維持タル一時已ムヲ得サル臨機ノ處置ニ止マリ固ヨリ是ヲ以テ永遠ノ方策トナスヲ得ヘキモノニ非ス兩國間ニ懸案ノ繋屬スルアリテ久シク之カ解決ヲ見サルカ如キハ其事件ノ性質如何ニ拘ラス既ニ兩國ノ親交ヲ阻碍スルノ結果ヲ免カレス殊ニ我ニ

REEL No. 調-0014
0440
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

於テ其ノ滿洲ニ有スル所ノ特殊ノ地位ヲ確立セムトスルニ當リテハ事實ニ於テ該地方ニ於ケル經營ヲ進捗シテ我根底ヲ深クスルコトヲ必要トシ之カ爲ニハ一方ニ於テ淸國官民ノ感情ヲ融和シ平穩ニ經營ヲ進マシメ他方ニ於テハ列國ヲシテ我經營ノ淸國ノ同意ヲ經タル合理ノ行爲タルコトヲ承認セシムルコトヲ要ス從テ廟議ノ決定ニ基キ淸國ニ對シテ我優勢ナル地歩ヲ保持シ併セテ滿洲ニ於ケル我特殊ノ地位ヲ確立セムト欲スルトキハ可成速ニ懸案ヲ解決シ以テ兩國間ニ於ケル不快ノ因ヲ絕ツコトヲ必要トス而シテ右ノ目的ヲ達セムカ爲ニハ今回淸國反省ノ期ハ又逸スヘカラサルノ好時期ナリトス

滿洲ニ關スル懸案中淸國政府ノ最モ重キヲ置ク所ハ間島問題ニ在リ該問題ニ關シテハ曩ニ廟議ノ決定ニ基キ該地方ニ對スル領土權ノ主

張ヲ固守セス專ラ韓人保護ノ目的ヲ達スルヲ主旨トシ清國政府ニ交渉シタル處彼我双方論議ノ末同問題ノ最要點ハ遂ニ該地方雜居韓人ニ對スル管轄問題ニ歸着スルニ至レリ而シテ清國政府ノ主張ハ强イテ是等韓人ヲ以テ清國臣民ナリトナスニ非スシテ其目的トスル所ハ右韓人ニ對スル裁判權ヲ自國ノ手ニ保有セムトスルニアルカ如シ抑是等韓人ハ一種特別ノ歷史ヲ有スル移民ニシテ之ヲ清國ニ於テ自國臣民ナリト主張スルモ亦多少ノ理ナキニ非ス之ヲ以テ清國ヲシテ彼等韓人ニ關スル裁判權ヲ拋棄セシムルカ如キハ到底清國ノ敢ヘテシ得ヘキ所ニ非サルノミナラス同國ニシテ雜居地域住民ノ七割ヲ占ムル韓人ニ對シ裁判權ヲ有セストセハ該地方ノ統治ハ非常ノ困難ヲ見ルヘキヲ以テ同政府カ到底右ニ對スル裁判權ノ拋棄ヲ承諾セサルへ

REEL No. 調-0014
0442
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

キハ明白ナル次第ナリ此故ニ間島問題ニ關スル妥協ヲ遂ケ之ト同時ニ各種滿洲ニ關スル懸案ヲ解決セムト欲スルトキハ少クトモ我ニ於テ韓人裁判權問題ニ關シ多少ノ讓步ヲナスノ覺悟無カルヘカラス然ルニ元來我ニ於テ韓人ニ對スル裁判權ヲ保有セムコトヲ欲スルハ之ニ依リ韓人保護ノ任ヲ完フセムトスルニ外ナラス從テ保護ノ目的ニシテ之ヲ達スルヲ得ハ必スシモ裁判權ヲ我ニ收メサルヘカラサル次第ニ非サルノミナラス各國人カ淸國ニ於テ治外法權ヲ享有スルハ何レモ開港市居住者若クハ內地遊歷者ニ止マリ廣大ナル不開地域ニ雜居スル人民ニ對シテ裁判權ヲ保有スルカ如キハ淸國ト各國間ニ於ケル條約ノ未タ之ヲ認メサル所ナリ之ヲ以テ淸韓條約ニ依リ我ニ屬スル所ノ領事裁判權ナルモノハ之ヲ普通外國人ノ享有スル權利ト同一

REEL No. 調-0014

0443

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ノモノト認ムヘク之ヲ目シテ間島雜居地ニ居住スル韓人ニ及フモノト解スルハ妥當ヲ缺クニ似タリ殊ニ滿洲ニ於ケル我權利ハ既ニ遠ク西北ニ延ヒテ長春、吉林ノ線ニ至レル次第ナルヲ以テ滿韓交境邊陬ノ地ニ於ケル少數韓人ノ裁判權ヲ重視シ之カ爲メ各種懸案ノ解決ニ障碍ヲ與フルカ如キハ決シテ得策ナリト謂フヘカラス之ヲ以テ我ニ於テ此際日清兩國關係ノ大体ニ鑑ミ韓人管轄問題ニ於テ幾分ノ譲歩ヲ爲シ雜居地居住韓人ニ關シテハ强イテ裁判權ノ保有ヲ主張セス之ト同時ニ是等韓人保護ノ目的ヲ達スル爲メ韓人ニ關スル裁判ニ付テハ我ニ於テ特ニ官吏ヲ派シテ之ニ立會ハシメ以テ同地ニ一種ノ會審制度ヲ布クコトトシ一面清國政府ヲ滿足セシメ一面韓人保護ノ根本主義ヲ貫徹スルコトトナシ間島問題ハ大体左ノ方案ニ依リ之ヲ妥結

69

スルコトトシ他ノ五問題ニ付テハ既定ノ方針ニ依リ清國ト交渉ヲ遂ケ清國ヲシテ充分我要求ヲ容レシムルニ努ムルヲ得策ナリトス

一、豆滿江ヲ以テ清韓兩國ノ國境ト爲シ同江上流地方ノ境界ハ日清兩國委員ヲシテ之ヲ調査決定セシムルコト

二、清國ヲシテ間島ニ於テ三四ケ所ノ開市場ヲ設ケシメ我ニ於テ該地方ニ一ケ所ノ領事館及數ケ所ノ分館ヲ置クコト

三、間島ニ於テ一定ノ區域ヲ定メ清國ヲシテ該地域内ニ於ケル韓人ノ雜居ヲ承認セシムルコト

四、清國ヲシテ間島ニ於ケル韓人既得ノ權利及利益ヲ保障セシメ且天寶山鑛山ヲ日清合併ト爲スヲ承諾セシムルコト

五、清國ヲシテ間島地方ト他ノ清韓地方トノ交通及貿易ヲ障碍セシメ

サルコト

六 在間島開市場區域内ニ居住シ又ハ内地ヲ遊歷スル韓人ニ付テハ我ニ於テ領事裁判權ヲ行使スルコト

七 在間島開市場以外ノ雜居地域ニ居住スル韓人ニ關シテハ清國ヲシテ裁判權ヲ行使セシメ我ハ官吏ヲ派シテ其裁判ニ立會ハシムルコト

八 吉長鐵道ヲ會寧ニ延長スルノ件ハ假令今回清國ノ同意ヲ得ル能ハストスルモ他日ノ素地ヲ爲スタメ適當ノ形式ヲ以テ此ノ際之ヲ清國ニ提議シ置クコト

REEL No. 調-0014

0446

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

別紙第三號

間島ニ關スル協約（明治四十二年九月四日調印）

第一條　日淸兩國政府ハ圖們江ヲ淸韓兩國ノ國境トシ江源地方ニ於テハ定界碑ヲ起點トシ石乙水ヲ以テ兩國ノ境界ト爲スコトヲ聲明ス

第二條　日淸兩國政府ハ本協約調印後成ルヘク速ニ左記ノ各地ヲ外國人ノ居住及貿易ノ爲開放スヘク日本國政府ハ此等ノ地ニ領事館若ハ領事館分館ヲ酌設スヘシ開放ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム

龍井村　局子街　頭道溝　百草溝

第三條　淸國政府ハ從來ノ通圖們江北ノ墾地ニ於テ韓民ノ住居ヲ承准ス其地域ノ境界ハ別圖ヲ以テ之ヲ示ス

REEL No. 調-0014
0447
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第四條　圖們江北地方雜居區域內墾地居住ノ韓民ハ清國ノ法權ニ服從シ清國地方官ノ管轄裁判ニ歸ス清國官憲ハ右韓民ヲ清國民ト同樣ニ待遇スヘク納租其他一切行政上ノ處分モ清國民ト同樣タルヘシ

右韓民ニ關係スル民事刑事一切ノ訴訟事件ハ清國官憲ニ於テ清國ノ法律ヲ按照シ公平ニ裁判スヘク日本國領事官又ハ其委任ヲ受ケタル官吏ハ自由ニ法廷ニ立會フコトヲ得但シ人命ニ關スル重案ニ付テハ須ラク先ツ日本國領事官ニ知照スヘキモノトス日本國領事官ニ於テ若シ法律ヲ按照セスシテ判斷セル廉アルコトヲ認メタルトキハ公正ノ裁判ヲ期セムカ爲メ別ニ官吏ヲ派シテ覆審スヘキコトヲ清國ニ請求スルヲ得

REEL No. 調-0014
0448
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第五條　圖們江北雜居區域內ニ於ケル韓民所有ノ土地家屋ハ清國政府ハ清國人民ノ財産同樣ニ完全ニ保護スヘシ又該江沿岸ニハ場處ヲ選ヒ渡船ヲ設ケ双方人民ノ往來ハ自由タルヘシ但シ兵器ヲ携帶スルモノハ公文又ハ護照ナクシテ境ヲ越ユルコトヲ得ス雜居區域內產出ノ米穀ハ韓民ノ輸出ヲ許ス尤モ凶年ニ際シテハ尚禁止スルコトヲ得ヘク柴草ハ舊ニ依リ照辦スヘシ

第六條　清國政府ハ將來吉長鐵道ヲ延吉南境ニ延長シ韓國會寧ニ於テ韓國鐵道ト連絡スヘク其ノ一切ノ辦法ハ吉長鐵道ト一律タルヘシ開辦ノ時期ハ清國政府ニ於テ情形ヲ酌量シ日本國政府ト商議ノ上之ヲ定ム

第七條　本協約ハ調印後直ニ效力ヲ生スヘク統監府派出所並文武ノ

REEL No. 調-0014
0449
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

各員ハ成ルヘク速ニ撤退ヲ開始シ二箇月ヲ以テ完了スヘシ日本國政府ハ二箇月以内ニ第二條所開ノ通商地ニ領事館ヲ開設スヘシ

REEL No. 調-0014
0450
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第三章　間島協約ト大正四年日支條約トノ關係ニ關スル係爭問題經緯

大正四年六月八日南滿洲及東部内蒙古ニ關スル日支條約（別紙第一號）締結後同月十八日在間島鈴木總領事代理ヨリ間島協約第三條及第四條ハ右新條約ノ規定ニ依リ當然消滅スヘキモノト解シ差支ヘ無キヤニ付請訓ノ次第アリ本省ニ於テ考究ノ結果之ニ對シ公平ニ謂ヘハ間島協約ハ特別ノ地方ニ關スル特殊ノ協定ナルヲ以テ其ノ第三條及第四條モ新條約第八條（「滿洲ニ關スル日支現行各條約ハ本條約ニ別ニ規定スルモノヲ除クノ外一切從前通リ實行スヘシ」）ノ結果從前通リ實行セラレ居ルモノト解スルヲ至當トス可キモ新條約ト間島協約トノ關係ニ關スル解釋問題ハ出來得ル

REEL No. 調-0014
0451
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/